

2019年7月31日

京成バス株式会社

東京BRT株式会社

都心と臨海部とを結ぶ「東京BRT」の本格運行を担う

東京BRT株式会社を設立いたしました

京成バス(本社:千葉県市川市、社長:齋藤 隆)は、7月8日(月)付で東京の都心と臨海地域とを結ぶ新しい交通システム「東京BRT」の運行を担う東京BRT株式会社(本社:千葉県市川市、社長:木下 良紀)を設立いたしました。

「東京BRT」は、東京都の臨海地域における豊洲市場の開場や環状2号線等の整備、住宅開発などによる交通需要の増加に速やかに対応するため、新たな交通システムとして東京都より京成バスが運行事業者として選定されました。2020年度には京成バスにおいてBRTプレ運行が開始され、新会社は東京2020大会後予定されるプレ運行二次より運行を開始し、2022年度以降の本格運行時は全ての運行を東京BRT株式会社が担う予定です。

1. 新会社概要

商号	東京BRT株式会社
本社所在地	千葉県市川市
代表者の役職・氏名	取締役社長 木下 良紀 (京成バス株式会社 常務取締役)
事業内容	東京BRTの運行 他
資本金	75 百万円
設立年月日	2019 年 7 月 8 日
株主	京成バス株式会社/100%

2. 東京BRTのスケジュール

2019年7月	東京BRT株式会社設立
2020年度	東京BRTプレ運行(一次)開始 (京成バス株による運行) 東京BRTプレ運行(二次)開始 (京成バス株による運行)
2021年度	プレ運行(二次)期間中、営業開始(京成バス株との共同運行)
2022年度以降	東京BRT本格運行 (東京BRT株による運行)



※車両の画像はイメージであり、具体的なデザイン検討において変更となる場合がございます。

東京BRTの特徴

運賃収受

現金でのお支払いを車内で行わない新しい方式を検討。従来のバスシステムとは異なるスムーズな乗降を目指します。

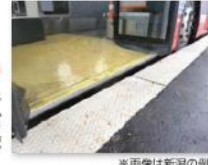


※本格運行開始後

停留施設

車椅子でもベビーカーでも乗り降りしやすい

標準的なプラットフォームの仕様は、車椅子使用者をはじめ、あらゆる方々がスムーズに乗り降りできるように、バリアフリーに配慮した計画とします。



※画像は新潟の例

輸送力

新橋～勝どき間の運行便数と輸送力(片道)
(平日ピーク時1時間当たり)

本格運行開始時

2,000人程度

片道運行基本便数*

20便程度

内訳(予定):
幹線ルート6便/晴海・豊洲ルート6便/
勝どきルート2便/選手村ルート6便

プレ運行(一次)運行開始時

450人程度

片道運行基本便数*

6便程度

*交通状況や需要などを考慮しながら、適切な運行頻度・便数を検討します。また、一部区間を運行する便や、途中停留施設を通過する急行便の運行を検討します。

トータルデザイン

東京BRTのデザインコンセプト
地域を「つなぐ」驚き、賑わい、変化
車両や停留施設、サインなどについて、一貫したコンセプトを基にデザインを実施します。

シンボルカラー
レインボー

シンボルマーク



東京BRT本格運行 2022年度以降

新会社による運行

環状第2号線 本線トンネル開通
(2022年度)後、選手村まちびらき後



※停留施設・ルート名は仮称です。また、ルートは概略を示したものです。

■ 幹線ルート ■ 晴海・豊洲ルート ■ 勝どきルート ■ 選手村ルート ■ 検討路線

以上